



9月22日(水)
「海苔の種付け」

鬼崎漁港で「海苔」の養殖用の網に胞子を付ける「種付け」の作業が始まりました。長さ18メートルの網を60枚ほど水車に巻きつけ、海苔の胞子の入った海水の中で回しながら付着させます。作業を終えた網は冷凍庫で保管し、海水温などの状況を見ながら海に張ります。11月下旬から育った海苔の摘み取り作業が始まり、12月上旬には新海苔が楽しめそうです。



9月19日(日)
「アイアンマン 70.3 セントレア常滑ジャパン開催」

国際的なトライアスロンの大会「アイアンマン 70.3 セントレア常滑ジャパン」が開催され、1000人を超える国内外の選手たちが水泳1.9キロ、自転車90キロ、ラン21キロ計113キロ(70.3マイル)のコースに挑みました。この日は気温30度を超える猛暑となりましたが、選手たちは沿道からの声援を力に変え、ゴールである中部国際空港を目指し頑張っていました。



9月9日(木)
「ボランティア T シャツ完成」

いよいよ9月19日に迫った「アイアンマン 70.3 セントレア常滑ジャパン」。大会を前にボランティアの皆さんが着用するTシャツが完成しました。背面に大きなロゴをあしらったおしゃれなデザインです。大会当日は約1300人がこのシャツを着て大会をサポートします。ぜひ皆さんも観戦にお越しいただき、選手たちを応援してください。なお、開催当日は市内で大規模な交通規制が実施されます。確認の上、ご来場ください。



9月9日(木)
「小中学校音楽会」

市民文化会館で市小中学校音楽会が開かれました。市内の全小中学校から約600人の児童生徒が出演し、合唱や吹奏楽の演奏を披露しました。鬼崎南小学校の児童107人は「ボディパーカッション」を披露。息の合った演奏に、観客からひととき大きな拍手が送られていました。



9月6日(月)
「大きくなって戻ってきてね」

市内の多屋海岸でウミガメの赤ちゃん2匹が見つかりました。5日朝、海岸を清掃していた近所の住民が発見した際、上空にカラスがいたため保護。翌日海に放しました。多屋海岸でウミガメが確認されたのは6年ぶり。大きくなって多屋海岸に戻ってきてくれるといいですね。



9月5日(日)
「みんなで街をきれいに」

公園の植栽や道路、側溝などの公共施設をきれいにする「秋の一斉清掃」が行われました。早朝から多くの市民や事業所の皆さんなどに、一生懸命作業していただきました。



9月3日(金)
「しっかり稲を守ってね」

三和南保育園では前山コミュニティの皆さんに協力していただき、毎年もち米を育てています。この日は6月に田植えをした水田に、4・5歳児が16体のかかしを立てました。園では10月に稲刈り、12月には収穫したお米を使い、餅つきを体験します。



9月1日(水)
「地震に備える」

市内の幼・保育園および小・中学校で、一斉引き渡し訓練が行われました。常滑東小学校では、12時45分に東海地震注意情報が発表されると、児童らがグラウンドに避難。全員の無事を確認した後、駆けつけた保護者に児童の引き渡しをしました。



8月21日(土)、22日(日) 「常滑焼を満喫」

常滑の夏の風物詩、常滑焼まつりが常滑ボートレース場とセラモールで行われました。2日で16万8000人が来場し、お気に入りの焼き物を手に、作り手との会話を楽しんでいました。

また、常滑焼急須と他素材急須でのお茶の飲み比べが体験できる「お茶ラボ」などのイベントも大人気でした。



8月18日(水) 「虫の音のプレゼント」

地域住民や市内の幼・保育園などに鈴虫がプレゼントされました。虫の音を楽しんでもらおうと、地元に住む竹内弥一さんと桑山保さんが毎年育て、青海農村公園で配布しています。鈴虫を受け取った青海保育園の園児らは「大事に育てます」と元気いっぱいに答えていました。



8月17日(火) 「ライフセーバーの心得」

市内の小学5・6年生23人がりんくうビーチでライフセーバー体験をしました。海に関する知識や海岸清掃の大切さを学んだ後は、海中で浮く訓練やレスキューボードでのパドリングに挑戦。苦戦しながらも、貴重な体験に笑顔を見せていました。



8月11日(水) 「スイカ収穫」

樽水三反田地内の畑で常滑北保育園と西浦北保育園の5歳児27人がスイカの収穫をしました。園児たちに農業体験をさせてあげたいと栄町に住む山本尊明さんが種から育て、毎年園児らを招待しています。収穫後はとれたてのスイカをみんなでおいしくいただきました。



8月8日(日)
「TOKONAMEダンスフェスティバル」

市民文化会館で第2回常滑ダンスフェスティバルが開かれました。市文化協会舞台芸術部に所属する2団体、130人が、ジャズダンスやヒップホップ、チアダンスなど40曲を披露しました。



7月27日(火)
「本物そっくりでびっくり」

セラモール内の喫茶店「エスティセラモール」で日よけとして植えた「スネークメロン」がお客さんを驚かせています。インド原産のこの植物は実が2mほどになるのが特徴で、とぐろを巻いている姿は、まさにへビそのもの。8月中は見る事ができるそうです。



7月25日(日)
「大漁だ、網を引けー」

「まるっとヘルシー多屋海岸」が観光協会多屋支部の主催で行われ、親子など700人が参加しました。恒例の地引網では子どもらが掛け声とともに網を引き、引き上げた大量の魚に目を輝かせていました。最後はカニなどが入った特製「海泉汁(かいせんじる)」が振る舞われ、多屋海岸を眺めながらの食事を楽しみました。



7月18日(日)
「ヨット体験乗船」

体協ヨット部がヨットの体験乗船を行い、市民70人が海上散歩を楽しみました。この日は22艇が鬼崎フィッシャリーナから出航し、空港島付近を航行。参加者らは間近で離陸する飛行機の迫りに驚いていました。



7月18日(日) 「空き缶の飛行機」

空き缶を使って全長10メートルもの飛行機を作る「ドリームコンストラクター」が旧常滑高校体育館で行われました。「夏休みの思い出になれば」と常滑青年会議所が企画。参加した小学4～6年生70人が約1万個の空き缶を使い、完成させました。飛行機ができあがると、子どもたちは歓声を上げて、写真を撮ったり、またがったりして楽しみました。



7月4日(日)(金) 「大規模災害に備えて」

大規模災害に備え「災害支援隊」が結成され、市役所で発隊式が行われました。市消防本部の退職者や看護師経験者22人で組織する「消防本部災害支援隊」と、元消防団員96人で組織する「消防団災害支援隊」から成り、災害時には市消防本部や消防団の後方支援を行います。式では、隊員らがお揃いのジャンパーを着用し、市長から登録証を受け取りました。



7月3日(土)海開きしました 「とこなめの海」

大野海水浴場ビーチハウスで常滑市海開き式が開かれ、観光協会や関係者など約100人がシーズン中の安全を祈願しました。市内には4カ所の海のレジャースポットがあり、大野・坂井の海水浴場では週末にイベントも予定されています。ぜひ、皆さんも「とこなめの海」にお出かけください。



7月1日(木) 「多屋公園がオープン」

多屋区画整理地内に「多屋公園」がオープンしました。広々とした公園内にはコンビネーション遊具やローラー滑り台などが整備され、小さい子から楽しめます。ぜひ、ご家族でお出かけください